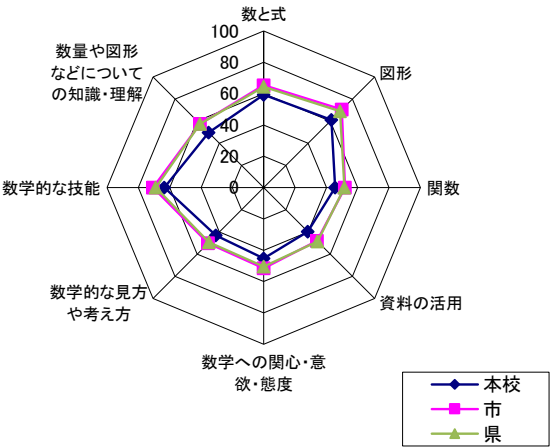


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	59.3	65.4	64.4
	図形	61.0	70.5	69.0
	関数	45.6	51.9	51.5
	資料の活用	39.9	48.1	48.6
観点	数学への関心・意欲・態度	45.2	51.5	50.4
	数学的な見方・考え方	43.2	50.2	49.4
	数学的な技能	63.4	70.6	68.9
	数量や図形などについての知識・理解	49.6	57.5	57.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	県平均より5.1ポイント下回っている。 ○負の数の減法、乗法、同類項をまとめる問題では、8割以上の生徒ができていることから多くの生徒の理解の定着が見られる。 ●特に比例式を解く問題、絶対値の理解について、不等式に表す問題に課題が見られる。	・四則計算の約束事や負の数について定期的に確認する。 ・基本的な計算について小テストなどを繰り返し行い、確認していく。また、言葉の意味や計算ルールについて授業で出てきたときに復習を行う。
図形	県平均より8ポイント下回っているが、前年より7.4ポイント上回っている。4領域の中で一番高い。 ○回転体について、約8割の生徒が理解できている。 ●ねじれの位置について、おうぎ形の面積を求める問題に課題が見られる。	・ねじれの位置についてやおうぎ形の面積について、2年生の図形の分野で復習をする。また、実力テスト実施後などに図形の問題についての公式の確認をして基本的な知識を定着させるために、繰り返し学習する。
関数	県平均より5.9ポイント下回っている。 ○比例のグラフを書く問題について、県平均をやや上回っている。 ●関数についての理解について、グラフを読み取り、速さを求める問題については県平均を下回っている。	・1次関数を学習する際に、式、表、グラフの関係を理解できるように、授業内で関係性を何度も確認する。 ・グラフを読み取るときに生徒の気づきを大切に、発見させる授業を行っていく。 ・日常生活の中での関数を紹介し、生徒の興味・関心を高める。
資料の活用	県平均より8.7ポイント下回っているが、前年とほぼ同じである。 ●累積度数について、範囲の意味について、最頻値については県平均を下回っている。	・身の回りの資料を活用する良さについて、分析しながら、感じさせ、生徒の興味・関心を高める。 ・データの比較の単元で1年生の復習を行い、用語の確認や資料の見方について学習し、2年生の学習とともに定着を図る。